著者紹介

渡邉　直行（WATANABE Naoyuki）
医師、医学博士（群馬大学）
放射線診断専門医・研修指導者（日本医学放射線学会）、核医学専門医（日本核医学会）、PET 認定医（日本核医学会）、第 1 種放射線取扱主任者免状、社会医学系専門医・指導医（社会医学系専門医協会）、認定産業医（日本医師会）、労働衛生コンサルタント

（アルジェ、アルジェリアにて）

略　歴

昭和 63 年	群馬大学医学部医学科卒業
昭和 63 年～平成 2 年	群馬大学附属病院研修医
平成 2 年～平成 6 年	群馬大学大学院博士課程医学研究科修了
平成 6 年～平成 8 年	群馬大学医学部核医学教室
平成 8 年～平成 10 年	フランス国立科学研究所 CYCERON 外国人研究員（脳 PET 担当）
平成 10 年～平成 13 年	科学技術庁放射線医学総合研究所研究官（核医学・放射線医学）
平成 13 年～平成 14 年	内閣府原子力安全委員会事務局安全調査官（緊急被ばく医療担当）
平成 14 年～平成 20 年	国際原子力機関（IAEA）高等医官（核医学・放射線医学担当）
平成 20 年～平成 22 年	独立行政法人放射線医学総合研究所調査役（国際担当）
平成 20 年～現在	国際原子力機関（IAEA）コンサルタント、群馬大学医学部非常勤講師
平成 22 年～平成 26 年	群馬県立県民健康科学大学・大学院　教授
平成 26 年～平成 29 年	群馬県医監・保健所長、（兼）群馬県立がんセンター医師
平成 29 年～現在	群馬県主監（前橋市保健所長）

主な著書

- IAEA TECDOC on A Guide to Clinical PET in Oncology -Improving Clinical Management of Cancer Patients-, Vienna, IAEA, 2008.
- IAEA TECDOC on Clinical Application of SPECT/CT: New Hybrid Nuclear Medicine Imaging System, Vienna, IAEA, 2008.
- IAEA TECDOC on The Role of PET/CT in Radiation Treatment Planning For Cancer Patients Treatment, Vienna, IAEA, 2008.

その他

- Radiation Protection Dosimetry（Oxford University Press）編集者
- World Journal of Nuclear Medicine（World Association of Radiopharmaceutical and Molecular Therapy）編集者